

貸借対照表											
資産の部						負債及び純資産の部					
勘定科目	一般会計等		全体会計		連結会計		勘定科目	一般会計等		全体会計	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合		金額	割合	金額	割合
1.固定資産	56,806,293	96.7%	65,891,653	98.0%	66,565,473	94.7%	1.固定負債	13,728,901	23.4%	19,997,051	29.1%
(1)有形固定資産	50,468,736	85.9%	59,461,181	86.6%	60,138,200	85.5%	(1)地方債	11,881,406	20.2%	17,228,342	25.1%
事業用資産	21,894,058	37.3%	21,898,569	31.9%	22,573,234	32.1%	(2)長期未払金	—	0.0%	—	0.0%
インフラ資産	27,787,066	47.3%	35,787,270	52.1%	35,787,270	50.9%	(3)退職手当引当金	1,845,703	3.1%	1,904,638	2.8%
物品	787,611	1.3%	1,775,341	2.6%	1,777,695	2.5%	(4)損失補償等引当金	—	0.0%	—	0.0%
(2)無形固定資産	146,425	0.2%	154,481	0.2%	154,844	0.2%	(5)その他	1,793	0.0%	864,072	1.3%
(3)投資その他の資産	6,191,132	10.5%	6,275,991	9.1%	6,272,429	8.9%	2.流動負債	1,477,183	2.5%	2,343,791	3.4%
投資及び出資金	395,763	0.7%	395,763	0.6%	168,928	0.2%	(1)1年内償還予定地方債	1,190,088	2.0%	1,609,777	2.3%
長期延滞債権	85,492	0.1%	155,655	0.2%	156,403	0.2%	(2)未払金	—	0.0%	56,566	0.1%
長期貸付金	25,259	0.0%	25,259	0.0%	25,259	0.0%	(3)未払費用	—	0.0%	—	0.0%
基金	5,689,320	9.7%	5,711,943	8.3%	5,934,469	8.4%	(4)前受金	—	0.0%	—	0.0%
その他	2,175	0.0%	2,175	0.0%	2,175	0.0%	(5)前受収益	—	0.0%	—	0.0%
徴収不能引当金	△ 6,878	0.0%	△ 14,805	0.0%	△ 14,805	0.0%	(6)賞与等引当金	136,396	0.2%	144,256	0.2%
2.流動資産	1,928,462	3.3%	2,766,214	4.0%	3,742,523	5.3%	(7)預り金	140,633	0.2%	140,633	0.2%
(1)現金預金	470,795	0.8%	1,260,726	1.8%	1,475,093	2.1%	(8)その他	10,066	0.0%	392,559	0.6%
(2)未収金	22,840	0.0%	58,825	0.1%	59,906	0.1%	負債の部合計	15,206,084	25.9%	22,340,842	32.5%
(3)短期貸付金	240,564	0.4%	240,564	0.4%	240,564	0.3%	(1)固定資産等形成分	58,239,721	—	67,325,081	—
(4)基金	1,192,864	2.0%	1,192,864	1.7%	1,532,784	2.2%	(2)余剰分(不足分)	△ 14,711,050	—	△ 21,008,057	—
(5)棚卸資産	—	0.0%	7,153	0.0%	428,093	0.6%	(3)他団体等出資分	—	—	—	—
(6)その他	1,823	0.0%	6,823	0.0%	6,823	0.0%	純資産の部合計	43,528,671	74.1%	46,317,024	67.5%
(7)徴収不能引当金	△ 424	0.0%	△ 741	0.0%	△ 741	0.0%	負債及び純資産の部合計	58,734,755	100.0%	68,657,866	100.0%
資産の部合計	58,734,755	100.0%	68,657,866	100.0%	70,307,997	100.0%					

※資産合計額に対する金融資産の割合 13.8% 13.2% 14.2%
(「1.固定資産(3)投資その他の資産」+「2.流動資産」)/資産の部合計

貸借対照表では、年度末日現在で、どれだけの資産や負債があるのかを把握できます。
左側の「資産」は、保有する資産の内容や額が記載してあります。
右側の「負債」及び「純資産」は、「資産」を形成するためにどのような財源措置をしてきたかを表しています。
「負債」は、今後、負担すべき債務であることから将来世代に対しての負担ととらえることができ、一方で、「純資産」は、今後負担する必要性のない資産、言い換えればこれまでの世代や現在の世代、または国、県が負担した分となります。

行政コスト計算書						
勘定科目	一般会計等		全体会計		連結会計	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
経常費用	10,657,382	100.0%	16,698,882	100.0%	20,032,126	100.0%
1.業務費用	5,950,963	55.8%	6,843,615	41.0%	7,377,740	36.8%
(1)人件費	2,123,322	19.9%	2,229,668	13.4%	2,382,561	11.9%
(2)物件費等	3,681,729	34.5%	4,312,091	25.8%	4,620,910	23.1%
内、減価償却費	1,955,475	18.3%	2,345,536	14.0%	2,429,135	12.1%
(3)その他の業務費用	145,912	1.4%	301,856	1.8%	374,269	1.9%
2.移転費用	4,706,418	44.2%	9,855,266	59.0%	12,654,387	63.2%
(1)補助金等	1,779,222	16.7%	7,847,262	47.0%	10,643,476	53.1%
(2)社会保障給付	1,965,704	18.4%	1,968,394	11.8%	1,968,394	9.8%
(3)他会計への繰出金	940,237	8.8%	—	0.0%	—	0.0%
(4)その他	21,256	0.2%	39,611	0.2%	42,517	0.2%
経常収益	739,551	6.9%	1,137,560	6.8%	1,362,226	6.8%
1.使用料及び手数料	490,775	—	836,913	—	844,827	—
2.その他	248,776	—	300,647	—	517,399	—
純経常行政コスト	9,917,831	—	15,561,321	—	18,669,900	—
臨時損失	238,862	—	246,606	—	246,606	—
臨時利益	21,261	—	85,001	—	85,001	—
純行政コスト	10,135,431	—	15,722,927	—	18,831,506	—

※表示金額は千円単位となっており、四捨五入のため合計金額に齟齬が生じる場合があります。

純資産変動計算書			
勘定科目	一般会計等	全体会計	連結会計
	金額	金額	金額
前年度末純資産残高	42,140,500	44,642,138	45,711,532
1.純行政コスト	△ 10,135,431	△ 15,722,927	△ 18,831,506
2.財源	10,178,891	16,011,254	19,234,670
(1)税收等	7,247,711	10,952,510	12,420,417
(2)国県等補助金	2,931,180	5,058,744	6,814,252
本年度差額	43,460	288,327	403,164
固定資産の変動(内部変動)	—	—	—
資産評価差額	△ 19,105	△ 19,105	△ 19,105
無償所管換等	1,362,878	1,362,878	1,362,878
他団体出資等分の増加	—	—	—
他団体出資等分の減少	—	—	—
その他	937	42,785	42,785
本年度純資産変動額	1,388,171	1,674,886	1,789,723
本年度末純資産残高	43,528,671	46,317,024	47,501,255

純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産が、1年間でどのような要因で増減したか、を表すもので、本年度末純資産残高は貸借対照表の純資産合計と一致します。

資金収支計算書			
勘定科目	一般会計等	全体会計	連結会計
	金額	金額	金額
1.業務活動収支	1,366,830	2,042,818	2,241,725
業務支出	8,624,104	14,228,227	17,477,288
内、支払利息支出	100,853	207,497	214,809
業務収入	10,070,402	16,354,577	19,802,545
臨時支出	238,793	242,856	242,856
臨時収入	159,325	159,325	159,325
2.投資活動収支	△ 1,707,885	△ 2,034,275	△ 2,056,749
投資活動支出	3,024,917	3,418,182	3,461,301
投資活動収入	1,317,032	1,383,907	1,404,551
基礎的財政収支	△ 240,202	216,040	399,785
3.財務活動収支	334,416	117,700	10,096
財務活動支出	1,534,884	2,471,594	2,789,197
財務活動収入	1,869,300	2,589,294	2,799,294
本年度資金収支額	△ 6,639	126,243	195,073
前年度末資金残高	336,801	993,850	1,138,524
本年度末資金残高	330,162	1,120,093	1,333,597
前年度末歳計外現金高	138,705	138,705	139,567
本年度末歳計外現金増減額	1,928	1,928	1,930
本年度末歳計外現金高	140,633	140,633	141,497
本年度末現金預金残高	470,795	1,260,726	1,475,093

資金収支計算書は、単年度の資金の収支を表し、1年間の資金の増減を、業務活動収支・投資活動収支・財務活動収支の3区分に分け、どのような活動に資金が必要であったかを示しています。また、本年度末現金預金残高は、貸借対照表の金融資産の資金の金額と一致します。
業務活動収支は、日常の行政サービスを行ううえでの収入と支出を表しています。投資活動収支は、主に固定資産形成に関する収入と支出を言います。財務活動収支とは、地方債等の借入や元金償還に関する支出を言います。